

公共事業環境配慮書(案)

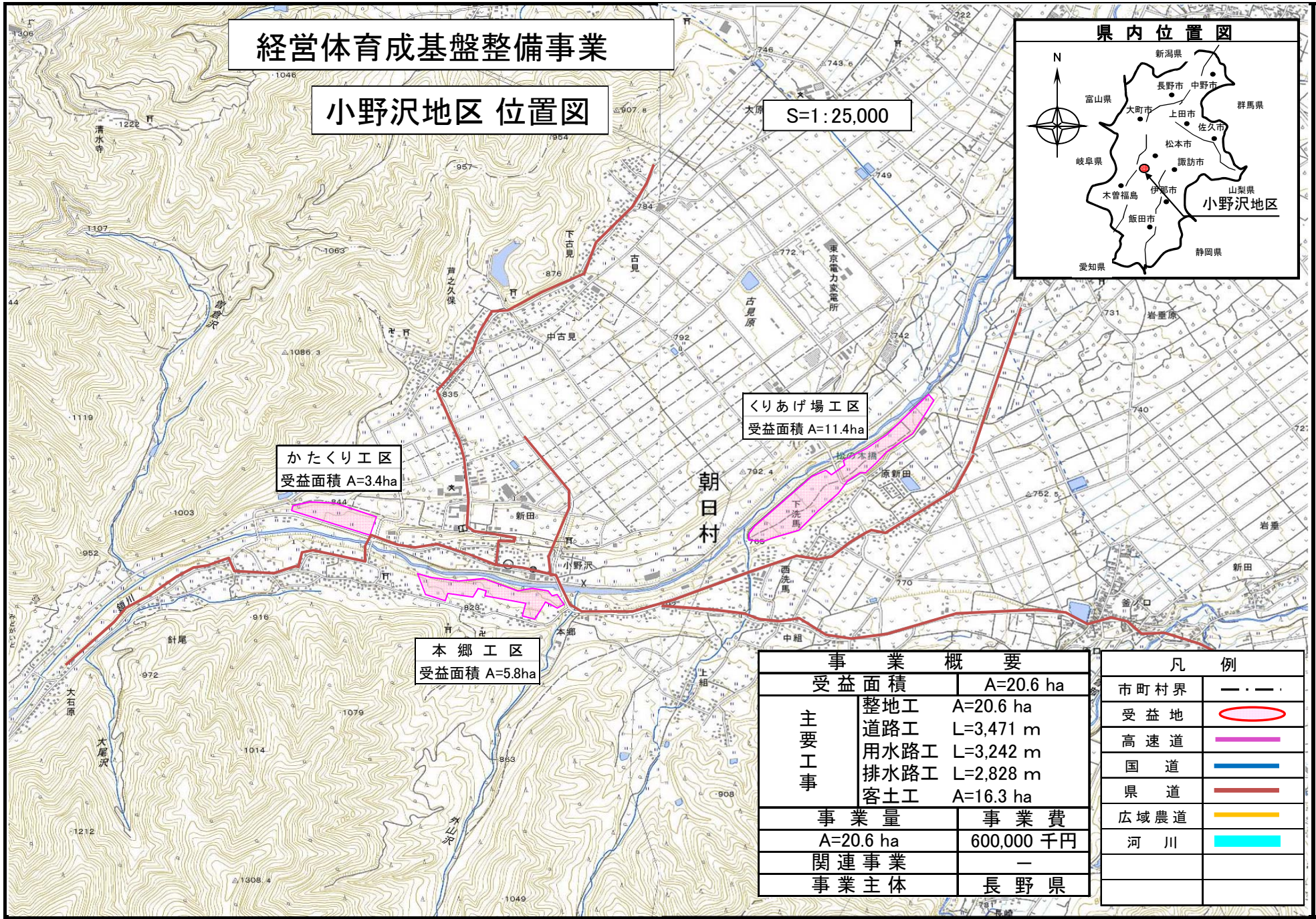
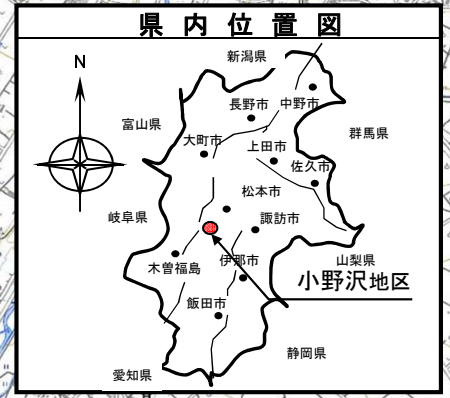
事業名称		
事業名	経営体育成基盤整備事業	
整理番号	R2-8	
事業の種類	ほ場の整備	
市町村名	朝日村	
箇所名	(小野沢地区)朝日村小野沢他	
事業年度	令和元年度～令和5年度	
事業概要		
目的	営農条件の改善による農業経営の効率化	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	区画整理工 A=20.6ha	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域	
その他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域内を村道が通過している	
土地利用の現況	中山間地域・平地・水田地帯である。	
生活関連施設の現況	特になし	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
【騒音、振動の防止】		
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。		
【悪臭の防止】		
・想定される影響はない。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川に隣接している
	【水質汚濁の防止】	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	河岸段丘である。 礫がち堆積物である 赤・黄色土である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	

野生動植物	留意すべき地域の概況	朝日村田園環境整備マスタープランにおける、環境配慮区域である。 平成30年5月に地権者、地域住民と打合せを行った。 平成30年6月に小野沢地区環境情報協議会により、環境配慮について検討した。
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
【地域独自の生物多様性の保全】		
・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。		
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】		
・回避すべき重大な影響は想定できない。		
景観	留意すべき地域の概況	田園風景を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
【良好な景観の育成】		
・想定される影響はない。		
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
【自然とのふれあい空間の創出】		
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある(本郷地区)
	【文化財等への配慮】	
・想定される影響はない。(朝日村教育委員会と打合せ済み(R元.5月))		
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
【資源の有効利用】		
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
・想定される影響はない。		
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない		

経営体育成基盤整備事業

小野沢地区 位置図

S=1:25,000



かたくり工区
受益面積 A=3.4ha

くりあげ場工区
受益面積 A=11.4ha

本郷工区
受益面積 A=5.8ha

朝日村

事業概要	
受益面積	A=20.6 ha
主要工事	整地工 A=20.6 ha
	道路工 L=3,471 m
	用水路工 L=3,242 m
	排水路工 L=2,828 m
客土工	A=16.3 ha
事業量	事業費
A=20.6 ha	600,000 千円
関連事業	—
事業主体	長野県

凡例	
市町村界	---
受益地	○
高速道	—
国道	—
県道	—
広域農道	—
河川	—